

令和5年度 第5回 聴覚障害者センター指定管理者運営委員会協議の概要

- 1 日 時：令和6年1月27日（土）
開会：13時30分 閉会：14時46分
- 2 場 所：岡山県聴覚障害者センター研修室
- 3 出席委員：岡山県聴覚障害者福祉協会 中西 厚美、東 久示、井下 智貴、
中務 雅裕
岡山県難聴者協会 森 俊己、竹上 敦典、谷口 進
- 4 会議に出席した者
岡山県聴覚障害者センター 所長 西條 保幸
- 5 情報保障：岡山県聴覚障害者センター職員3名、岡山県要約筆記団体連絡会2名
- 6 報告事項
 - (1) 令和5年11月・12月の月例報告
 - (2) 令和5年12月までの各種事業の実施状況と計画
 - (3) 令和5年度センター利用者アンケートの結果
 - (4) 災害対策本部会議の実施報告
 - (5) 災害救援専門ボランティア研修会の実施報告
- 7 協議事項
 - (1) 令和6年度センター運営方針（案）
- 8 その他
 - (1) 次回運営委員会の会議日程について
 - (2) 令和5年度センター運営会議の日程について
- 9 協議の概要（○は委員の発言、□はセンターの発言）
 - ① 12月までの各種事業の実施状況と実施計画について
 - 生活応援グッズの貸出件数は昨年度の同時期に比べると6倍以上に増加しているが要因は何か。
 - 周知活動の成果が出てきたのだと考えている。
（※生活応援グッズの体験会（自立支援事業）を2年連続で開催など。）

- 今年度の地ボラ研修は2月3日に開催となっているが、倉敷地区の行事とのバッティングを避けるために、開催日程を早めに示していただきたい。
 - 開催日程の固定(何月の第何週の日曜日など)や十分にゆとりのある日程の決定・委員への連絡を心がける。
 - 学校教育との連携であるが、今年度、I小学校からは149名の校外学習となっているが、これほどの大人数を一度に受け入れが出来たのか。
 - I小学校の4年生が毎年、校外学習でセンターに来てくれるが、4回に分けて、1回あたり40名程度で来センターしている。
 - HPの視聴者が減少しているが、その対策について何か考えはあるか。
 - 具体的な方法についてセンター内で協議しなければいけないと思っている。
 - ろう協にはHPに詳しい人材もいるので相談してくれればよい。応援する。
 - 「関係機関や地域社会との連携状況」にある備考欄の人数はセンターからの参加者数か。
 - そのとおり。
 - この4月から合理的配慮が義務化されるという説明があったが、もう少し詳しく説明していただきたい。
 - 改正差別解消法がこの4月から施行され、これまで官公庁だけであった合理的配慮の提供の義務化が民間企業にも適用される。民間企業はこれまでは努力義務であった。
 - 法律には罰則規定はなかったと思う。実効性に関してはどうだろうか。
 - これまで、障害者情報アクセス法なども施行されてきたが、法律が出来てもその実効性を担保するのは私たちの動きや取組み次第だと思っている。
 - 同感だ。
- ② 災害対策本部会議及び災害救援専門ボランティア研修会の実施報告に関して
- 災ボラ研修会の開催日程であるが、正月早々に実施するのは日程的にどうか。
 - そういう声があるので日程に関して検討してみたい。
 - 正月明けであれば他の行事とのバッティングも少ないので良いのではないのか。日程を変更して大勢が来てくれるようになるのであれば、変更すれば良いと思うが。
 - 利用者アンケートの結果だが、HPで公表するだけではなく、(インターネットを利用する人ばかりではないので)登録者に郵送してはどうか。
 - センターだよりは封書に入れて発送しているので一緒に郵送したい。
 - 郵便料金の嵩上げにもなるのでセンターで十分協議していただきたい。
 - センター主催行事への参加者を増やす方法だが、HPにグーグルカレンダーを入れてみては如何か。最近の若い人は、行事開催のチラシよりもカレンダーをよく見ている。HPのアクセス数の増加にも繋がると思う。また、HPから参加申込み出来るようになれば良いと思うが。

- HP からの申込みは、行事の参加対象者以外からの申込みが予想され、事務が煩雑になるなど問題が多いと考えている。利用者アンケートにも同じ要望が上がっているが、同様の理由で今後の検討事項にさせていただきたい、と回答している。他県の先進事例の調査から始めたいと考えている。
 - Okayama Free Wi-Fi 設置の説明があったが研修室、会議室でも使えるようになるのか。
 - 301 会議室だけである。
 - センターの HP はスマホでも見ることができるか。
 - 見ることができる。
- ③ 令和6年度センターの運営方針（案）について
- 県内広域を対象にした事業実施を目指すという説明があったが、難聴者協会では、聞こえの相談会を津山市や真庭市で実施している。しかし、県北で実施するには旅費など、県南開催に比べて経費がかかる。
 - 現在、県北開催していただいておりますが、来年度の自立支援事業の予算額は今年度と変わらないと聞いている。従って現予算で工夫して開催していただくしか方法がない。
 - 危機管理体制の構築であるが、災害対策本部設置・対応マニュアルの整備などを図るとあるが、具体的にどのようなマニュアルなのか。
 - 現行でも、岡山県聴覚障害者災害対策本部会議設置運営規程があるが、この規程では災害発生時の迅速な対策会議の開催などの災害時対応ができないという意見がある。従って、例えば、震度4以上の地震発生時にはセンターに自主参集するなど、災害発生時の対応をもう少し細かく定め、実効性のあるマニュアルを協議しながら作成したいと考えている。
 - 令和6年度センター運営方針（案）を承認しても良いか。
 - 異議なし。
- ④ その他
- センター内に能登半島地震の募金箱を設置してはどうか。
 - センターカウンターへ設置するようにしたい。
 - 次回の今年度最後になる運営委員会は3月30日（土）13時半から開催する。また、今年度の運営会議は3月17日（日）開催である。